

尾道市立御調西小学校 学校図書館

児童・職員・地域 みんなでつくる



【本校の学校教育目標】

確かな力で未来を拓く教育の創造

読書活動の推進を通して・・・

- ・読書を通じて、学力の基礎となる「ことばの力」を身につけさせる。
- ・読書を通じて、様々な知識や技能・思考力・創造力などを身につけさせ、人生を豊かに生きる力を育てる。
- ・読書に対する興味や態度を育て、読書生活の基本的な習慣を養う。
- ・情報に対して興味・関心をもち、積極的に活用しようとする態度を養う。
- ・学校図書館の利用の仕方、視聴覚教材の利用の仕方を身につけさせるとともに、各種の情報を適切に選択し、活用の仕方を身につけさせる。

育てたい資質・能力

生きて働く知識・技能

表現力

主体性

地域理解

3年次

研究主題

主体的に学び、表現できる児童の育成

～育てたい資質・能力の明確化を通して～

研究仮説

生活科や総合的な学習の時間を中心に、つけたい資質・能力を明確にした指導構想の下、課題設定の工夫、協働的な学びの場の設定、学んだことの表現、**NIEの視点・活動を取り入れる**ことを主軸とした授業改善に取り組むことで、児童が学ぶことの意義や楽しさを感じ、主体的・協働的に学習し表現する力を育成することができるであろう。

尾道市立御調西小学校は、学校教育目標「確かな力で未来を拓く教育の創造」に向け、上記のように読書を通じて児童に様々な力をつける取組を行っている。

本校では学校司書の配置により、環境構成や読書指導が充実したものとなっていたが、昨年度より学校司書が月に2回程度から週2回の勤務となり、より本校の図書館を活性化することができた。昨年度は主に読書活動の推進に向けて学校司書との連携はもちろん、図書委員や“絵本の森”という地域の方々に読みきかせをしていただく活動を行うことで、児童にとって読書を身近に感じさせられるように取り組んできた。そして今年度は、日本新聞協会のNIE実践指定校を受け、各学年に応じたNIE活動を行っている。

～読書活動推進及び学校図書館の充実に向けた取組～



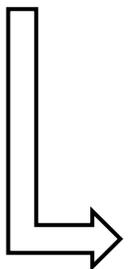
図書室の入口

季節の飾りと関連する本を紹介することで、本を読みたいと思えるように工夫している。



室内

壁側に本をたくさん並べ、部屋全体を本で囲んでいる。そうすることで本を探しやすく、広い空間で落ち着いて読書ができる。新しい本が入ったら別コーナーを設けて児童に知らせている。



【平和学習】



【古典の日】



学校行事に関連したコーナーの設置

◎季節や行事に応じた環境づくりを行うことで、児童が興味を持って図書室へ行く姿が大変多く見られた。



先生のオススメの本紹介

昨年度より実施している先生のオススメの本紹介は、児童に人気がある。4月23日～5月12日の“こどもの読書週間”に合わせて実施した。読書に親しみのない児童でも、先生が本を紹介することで、読んでみようという思いを持つことができる。



まつの 教頭先生のオススメの本

じかんひょうりゆうき ズッコケ時間漂流記



ハチペエ、ハカセ、モーちゃんのズッコケ三人組が通っている学校に、新しく音楽の先生が来た！その先生のファンになったハチペエが、先生にピアノを教えてもらおうとして音楽室に行くと、鏡の中にすいこまれてしまい、江戸時代へタイムスリップしてしまいます！
「学校の」や「タイムスリップもの」の本が好きな人はぜひ読んでくださいね！

先生のオススメの本、
読んでみようか



図書委員会の企画

図書委員会の取組として、主に月間の学年別貸出冊数の集計・放送や企画の運営・実施を行っている。貸出冊数に関しては、たくさんの方が本に親しんで欲しいという思いから、毎月集計して放送することで、「本を読もう！」という意欲を引き出すことができる。月に一度図書委員会が企画を実施することで、「図書室に行きたい！」と思う児童が多く見られる。

1年生からでもできるスタンプラリーはとても好評で、第2回を開催しました。

【スタンプラリー】



【福袋】



どの学年でも楽しめるように本の中身をよく考えて詰めました。

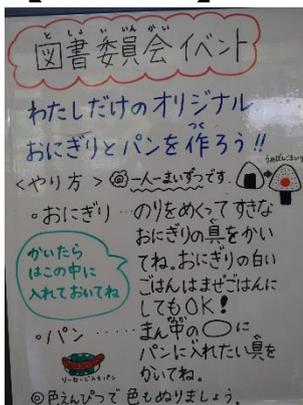


【読み聞かせ】



一年生から六年生までたくさんの方の児童が来て楽しんでいました。

【ぬりえ】



昨年度、学校司書が企画した“ぬりえ”を児童は覚えており、今年度は自分たちで企画したいという思いから、今年度は図書委員会が主体で実施した。実施後は、展覧会という形でみんなの作品を掲示し、盛り上がっていた。



学校司書の配置

学校司書は、毎週水曜日と木曜日に来校している。新刊の登録や季節や行事に応じた掲示作り、教科で使う図書の選書などの業務を行っている。また、各学年の授業支援（感想文指導やNIE活動）に入ったり、委員会活動で児童と企画の運営や実施に協力したりしている。



新聞の掲示

【図書室内】

読み方のコツまで細かく説明してある。→「読んでみたい！」



【階段付近】

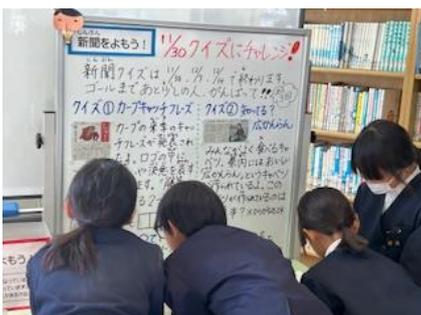
【理科室前】

【教室前】



新聞クイズ

新聞は学校のあらゆる場所に貼ってあり、どんなところでも簡単に見ることができる。



いろんな新聞を並べて、いつでも読めるようにしている。



クイズ形式にすると、児童は楽しみながら新聞を読むことができる。→答えを紙に書いて正解するとスタンプがもらえ、ある程度ためると、賞状をもらうことができる。

また読みたい!



授業支援

【図書館利用指導】

学年に応じた図書館の利用方法を指導する。全学年、4月の学級活動で実施している。



6年
“図書館の上手な利用法”

3年
“図書館の本の並び方”



【読書指導】

利用指導同様、学年に応じた読書指導をする。全学年、4月の国語科で実施している。



1年

5年



【NIE】

低学年は最初のうちは遊びから新聞に慣れ親しむ。その後、徐々に学習へ繋げる。

低学年から高学年まで、学年に応じた新聞ワークシートを実施している。6年生では、新聞を読んで見だしを考えたり、考えを記述したりする。



2024年7月6日付
毎日小学生新聞 記事

1. にゆーずに のっぴいる しずおかは、きおんが なんどに なったのですか。
①29.3ど ②30.3ど ③35ど
2. なつちゆうじように ならぬいように あなたが きをつけて いることを かきましよう。
ながいひびがひらいてるれいじんをとる。

2024年5月30日付
毎日小学生新聞 記事

1. 木の人工衛星は、従来の金銭のものど違ってどこがよいのでしょうか。
使用後、宇宙から地球へ落下する大気圏へ突入した際、燃焼して燃え尽きる。宇宙ごみを減らすのに役立つ。
2. あなたが、この記事に見出しをつけるとしたら、どんな見出しをつけませんか。
世界初、木造人工衛星リクサット
3. 作った見出しを友達と交流してみよう。



中・高学年は新聞づくりに挑戦している。手書きやデジタル等、実態に応じた工夫をしている。

5年

○国語科
新聞の構成を知る。



活用

○総合的な学習の時間
新聞づくりをする。



今後も、児童・職員・地域みんなで夢あふれる学校図書館をつくっていきます！

